

製品安全データシート

会 社：フタワ株式会社
住 所：〒700-0976
岡山市北区辰巳 21-118
担当部門：
担 当 者：高橋 淳
電話番号：086 (244) 4588
緊急連絡先：同上

作成；2020年 12月 14日

1. 製品名（化学品名、商品名など）：忌避一番 粒剤タイプ

2. 危険有害性の要約

GHS 分類（注意喚起、ピクトグラムは適用外）

物理化学的危険性 : 分類できない
人健康有害性 : 分類できない
環境有害性 : 分類できない

3. 組成及び成分情報

単一製品、混合物の区別：混合物

含有成分 : 木タール、にんにく、木酢液、ハバネロ、ニーム等
(別名) 木クレオソート、ウッドクレオソート

成分及び含有量 : 混合物のため、特定できない。
ブナやマツなどの原木を炭化したときに出る煙を冷却し、液化して静置すると木（もく）タールが得られる。

構造式 : 混合物のため、特定できない。

分子量 : 混合物のため、特定できない。

4. 応急措置

吸入した場合 : 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

医師の手当、診断を受けること。

気分が悪い時は、医師の手当と診断を受けること。

皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類を脱ぐこと。

皮膚を速やかに洗浄すること。

多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

- 医師の手当、診断を受けること。
気分が悪い時は、医師の手当、診断を受けること。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
- 目に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに医師に連絡すること。
口をすすぐこと。
医師の手当、診断を受けること。
気分が悪い時は、医師の手当、診断を受けること。
- 予想される急性症状及び遅発性症状 : なし

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 小火災 : 二酸化炭素、粉末消火剤、散水
大火災 : 散水、噴霧水、通常の泡消火剤使ってはならない消火剤 : 棒状注水
- 特有の危険有害性 : 可燃性物質 : 燃えるが容易に発火しない。
加熱により容器が爆発するおそれがある。
火災によって刺激性、腐食性又は毒性のガスを発生するおそれがある。
- 特有の消火方法 : 引火点が極めて低い : 散水以外の消火剤で消火の効果がない大きな火災の場合には散水する。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置 : 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
関係者以外の立ち入りを禁止する。
作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。
漏洩しても火災が発生してない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。
風上に留まる。
低地から離れる。
密閉された場所は換気する。
- 環境に対する注意事項 : 河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。
環境中に放出してはならない。

- 回収、中和 : 少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。
少量の場合、吸収したものを集めるとき、清潔な帯電防止工具を用いる。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : 危険でなければ漏れを止める。
- 二次災害の防止策 : すべての発火源を速やかに取り除く（近傍での喫煙、火花や火災の禁止）。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 安全取扱い注意事項 : 使用前に使用説明書を入手すること。すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
火気注意。
接触、吸入又は飲み込まないこと。
空気中の濃度を暴露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
環境への放出を避けること。
- 保管技術的対策 : 保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作ること。
保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他軽量な不燃材料でふき、かつ天井を設けないこと。
燃材料でふき、かつ天井を設けないこと。
保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。
保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適切な傾斜をつけ、かつ、適切な溜めますを設けること。
保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
- 保管場所 : 炎及び熱表面から離して保管すること。
冷所、換気の良い場所で保管すること。
酸化剤から離して保管すること。
施錠して保管すること。
容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 設定されていない。
- 許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標） :
日本産衛学会（2006年版） 設定されていない。
- 保護具

- 呼吸器の保護具 : 呼吸器保護具（有機ガス用防毒マスク）を着用すること。
必要に応じて個人用呼吸器保護具を使用すること。
- 手の保護具 : 保護手袋を着用すること。
- 眼の保護具 : 保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付普通眼鏡型、ゴーグル型）
- 皮膚及び身体の保護具 : 保護衣、保護面を使用すること。
- 衛生対策 : この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

9. 物理的及び化学的性質

適用しない。データなし。

10. 安全性及び反応性

- 安全性 : 通常取扱い条件において安定である。
光により変質する。
- 危険有害反応可能性 : 酸化剤に触れると反応する危険性がある。塩化ビニル樹脂、ポリスエチレンを侵す。
- 避けるべき条件 : 高温、日光。
- 混触危険物質 : 酸化剤。
- 危険有害な分解生成物 : 燃焼すると、有毒なフェーム（一酸化炭素）を生成する。

11. 有害性情報

- 急性毒性 : 経口 ラット LD50 データ=725 mg/kg(RTECS)
マウス LD50 データ=433 mg/kg(RTECS)
飲み込むと有害（経口）
経皮 データなし
吸入（蒸気） データなし
- 皮膚腐食性・刺激性 : データがないので分類できないが、皮膚刺激のおそれがある。
- 眼に対する重篤な損傷・刺激性 : データがないので分類できないが、眼を刺激される可能性がある。
- 呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 呼吸器感作性 : 皮膚感作性 : データなし
- 生殖細胞変異原性 : 知見なし生殖毒性 : データなし
- 特定標的臓器・全身毒性
（単回ばく露） : 情報なし
- 特定標的臓器・全身毒性
（反復ばく露） : 情報なし
- 吸引性呼吸器有害性 : 情報なし

12. 環境影響情報

- 水生環境急性有害性 : データがないため分類できない。
- 水生環境慢性有害性 : データがないため分類できない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の規準に従うこと。
都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共
団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告
知の上処理を委託する。

14. 輸送上の注意

荷崩れしないように注意しできるだけ直射日光に当たらないように注意する。

15. 適用法令

日本国内での法規制

廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）

16. その他の情報

このSDSは、当社製品をより安全にご使用いただく為に正確を期してはおりますが、含有量、危険有害性、化学的物性等のデータについて保証するものではありません。本製品を使用する際には、ご使用者自らの責任においてSDS等を参照し、安全な取り扱いをしていただくようお願いいたします。また、SDSは、新しい知見が得られた場合、随時改訂をすることがありますのでご了承ください。